

「課題名 バンコマイシンの血中濃度に及ぼす因子の検討 及び初期投与設計の確立

○研究の目的

バンコマイシンは血中濃度を測定することで投与量を調節しますが、血中濃度に及ぼす検査値や初期の投与条件を明らかにし、安全で有効な投与法を確立することが期待できます。

○研究の方法

2014年1月から2016年3月の間に、広島大学病院でバンコマイシンによる治療を受けられた方を対象とします。

本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は年齢、体重、性別、血液検査(血清クレアチニン、eGFR、ALB等)、バンコマイシン濃度です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)

(研究期間 承認後～2018年3月31日)

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学 薬剤部 教授 松尾 裕彰(研究責任者)

薬剤師 片岡 達夫(研究担当者)